

会 議 結 果 報 告 書

令和7年9月1日

会議の名称	令和7年度 第2回舞鶴市文化振興事業企画懇話会	
種別	☐ 附 属 機 関 ☒ 懇 話 会 等	
開催日時	令和7年8月18日（月） 19時00分 から20時10分	
開催場所	舞鶴市役所 本館2階202会議室	
出席者	<委員>山本副委員長、山口委員、坂本委員、小谷委員、仲野委員 <事務局>福田部長他4名	
議題	(1) 新規事業案について (2) その他	
公開の区分	☒ 公 開	
	☐ 部分公開	
傍聴者数	なし	
審議結果 及び 主な意見等	会議録のとおり	
会議録の作成様式	☐ 詳 細 ☒ 要 約	
備考		

担当課	舞鶴市 生涯学習部 文化振興課 TEL (0773) 66 - 1019
-----	---

令和7年度第2回舞鶴市文化事業企画懇話会 会議録（要約）

日時：令和7年8月18日（月）19：00～20：10

場所：舞鶴市役所 本館2階202会議室

出席：小谷委員、坂本委員、仲野委員、山口委員、山本委員

（事務局）福田部長、森次長、横川課長、佐藤係長、森下

欠席：椿委員

会議内容：

1. 議題：

（1）新規事業について

（2）その他

【委員からの主な意見】

（1）新規事業について

■提案事業① 即興パフォーマンス集団「ロクディム」 ワークショップ

○提案理由：全国や舞鶴市内でも実績があるため

→市内のファンが増加し、ワークショップを望む声もある

さらに続けていきたい ロクディム6人の面白さを知ってほしい

○内容：市内学校でのアウトリーチ（公演、ワークショップ）

○出演条件：地方行政の予算に対応し、様々な形態や人数で組むことが可能

■提案事業② 太鼓芸能集団「鼓童」 公演

○提案理由：

・2026年にグループ創立45周年を迎えるため

・一発の音で感動を与える素晴らしい団体であるため

・舞鶴のことを気に入っており、市民との交流もあるため

○内容：ワークショップと公演

○出演条件：

・出演契約料が400万円程かかる（契約料減額など対応可能）

・2026年の9月か10月であれば日程調整可能

■提案事業③ 「友の会」の名称・ロゴの公募

○目的：「友の会」を広く知ってもらうことで、登録者の増加につなげる

○内容：

・名称やロゴを公募しリニューアルする

・「広報まいづる」に掲載しより周知を図る

・過去の実績一覧を市役所のホームページで公開する

■提案事業④ 今年度新規事業「まいづるまちなかアートア라운드」の継続

○提案理由：より障害のある方への理解を深めてもらいたい

○内容：

・今年度はみずなぎ鹿原学園の作品のみ展示予定のため、

今後は他事業所の作品にも範囲を広げて実施したい

・絵画以外の作品も展示できるようにしたい

■提案事業⑤ 伝統文化×アート ワークショップ

- 目的：伝統文化の継承、アート体験
- 内容：・福知山市夜久野町の丹波漆を使ったワークショップ（金継ぎ等）
→会議室ではなく、気軽に立ち寄れるカフェ等で実施したい
・出前講座の実施

■提案事業⑥ 川上ミネ（ピアニスト）リサイタル

- 提案理由：「祈り」や「自然」「巡礼」をテーマとする川上氏の音楽は、舞鶴の文化的価値を広く発信する機会となると考えるため
- 内容：ピアノのリサイタル

■提案事業⑦ 文化版フリーペーパーの作成

- 目的：敷居を低くし、文化に触れてもらう間口を広げるため
- 内容：
 - ・漫画風にして、視覚的にも楽しんでもらえるようにする
 - ・広報まいづるに挟み込み、普段文化に関心のない人にも見てもらう
 - ・市の職員ではなく、興味のある方やアーティストに作成を依頼する
→継続的に刊行できるような仕組みづくりが必要

■提案事業⑧ 市外アーティストとのトークショー

- 場所：カフェ、バー（気軽に楽しんでもらうため）
- 時期：他イベント実施前後（より人が集まる時に実施した方がよい）
- 内容例：山本委員が司会役となりアーティストとトーク

（２）その他

■総合文化会館 プロモーター公演等の共催について

- ・純粋に共催してほしい。市が呼ばない限り、公演を主催する人を呼べないのではないかなと思う。もっと活発に多様なジャンルの公演を実施してほしい。
- ・他に良い事例はないのか。全国の情報を知りたいと思った。
→近隣の市町村はすでに共催している自治体が多い。
- ・共催を進める必要性はどういったところにあるのか。
→市主催事業だと市の収入となるため、舞鶴市で実施するメリットを感じられずに公演等実施してもらえなくなる可能性もあり得るため。
- ・公演を実施する側からすると、共催してもらえる方が嬉しい。
主催事業に限定して公演数が少なくなるのは淋しい。
→市主催事業は実施できる公演の制限が多いため、プロモーター公演の導入により幅広く公演を実施することができるが、線引きが難しい。
- ・「友の会」を市民の声を聞く場として活用できたら良いのではないかな。市民が能動的に参加できるようにすることで、より会館に興味を持ってもらえる人が増えると思う。
- ・公演実施業者に「舞鶴へ来てもらえませんか」とアナウンスできないか。
→できなくはないが、チャンネルが市になると弱いのが現状。

■次回の懇話会について

- ・事務局：秋頃に実施予定。今回のご提案事業について更に議論いただく予定